

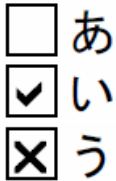
チェックマーク

1. 概要..... 2
2. マーク変数オブジェクト..... 3
3. 手書き風マークを使用する..... 4

1. 概要

Create!Form では、データの内容によって帳票上にチェックマークを出力することができます。たとえばデータが「0」のときは何も出力せず、「1」や「2」のときはチェックマークが出力されます。

図：チェックマーク



チェックマークを出力するためのオブジェクトとしては「マーク変数オブジェクト」が用意されています。

Create!Form では以下のチェックマーク種別をサポートしており、それぞれ「0」～「5」のデータに対応して描画されます。

図：マーク種別

0	1	2	3	4	5
	✓	✕	○	●	■
0	1	2	3	4	5
	✓	✕	○	●	≡

チェックマークの字形は上図のように2セット用意されています。

- ・スタンダードマーク（図：上）
- ・手書き風マーク（図：下）

製品の初期状態ではスタンダードマークが使用される構成になっています。

なお、Print 製品でマーク変数を使用する場合は、QDF ファイルにマーク変数用のフォント辞書（vmark.fnt）を設定する必要がありますのでご注意ください。

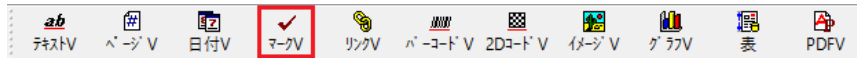
また、PrintStage 製品ではチェックマーク出力機能は利用できませんのでご注意ください。

2. マーク変数オブジェクト

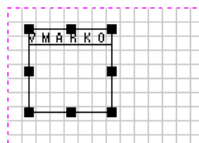
マーク変数オブジェクトは、入力データから取得した可変的なデータを元に帳票上にチェックマークを描画するオブジェクトです。

Form エディタ画面上でマーク変数オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある [マーク変数] アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：[マーク変数] アイコン



図：マーク変数オブジェクト



チェックマークはテキストとして描画されます。

そのため、プロパティ画面では、フォントや文字間隔といったテキストデータとしての設定を行うことができます。

図：プロパティ

[フォント] [サイズ] [文字間隔] [色] [位置合わせ] の設定内容についてはマネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」- 「3.3 フォームオブジェクト」- 「固定テキスト / テキスト変数」をご覧ください。

3. 手書き風マークを使用する

標準の状態ではスタンダードマークが自動的に使用されます。手書き風マークに切り替える場合は以下の手順でチェックマーク用フォントの切り替えを行ってください。

1. “ユーザー設定（共通）フォルダ¥font”内の vmark. fnt および vmark. dat および svg_vmark. dat を別名にリネームし退避します。
ユーザー設定（共通）フォルダはマネージャの [ヘルプ]-[バージョン情報]-[バージョン情報詳細] で確認できます。
2. vmark_fh. fnt および vmark_fh. dat および svg_vmark_fh. dat をそれぞれ vmark. fnt および vmark. dat および svg_vmark. dat にリネームします。

以上でチェックマーク用フォントの切り替えが完了します。